

## ぼくのげんきのもと

気仙沼市立面瀬小学校1年 すがわら しおん

ぼくは、しろいごはんがだいすきです。

とくにしおおにぎりがすきで、のりもまかないでたべるのがいちばんすきです。しおおにぎりは、ごはんをかめばかむほどあまいあじがして、とてもしあわせなきもちになります。

ときどき、おこめをとぐおてつたいをします。

「おいしくなあれ、おいしくなあれ。」

おかあさんといっしょにかけごえをかけながらとぎます。ぼくがといたおこめでできあがった、あつあつのごはんは、いつもよりぴかぴかかして、とってもおいしいです。

「きょうのごはんは、ぼくがといたおこめのごはんだよ。みんなはやくたべてみて。」

「なんだべ、きょうはとぐべつおいしいごど。しあわせだなあ。」

じいじ、ばあば、かぞくみんなが、にこにこよろこんでくれて、ぼくはとてもうれしくなりました。

そのとき、ぼくは、たんぼをまもるかかしをおもいだしました。つめたいあめや、つよいかぜ、あつたいようのひかりにもまけないで、たんぼをまもってくれているかかしに、おれいをいおうとおもいました。かかしがたんぼをまもってくれているおかげで、たくさんのおこめがとれます。おいしいおこめでたいたごはんをたべると、みんながにこにこ、しあわせになるとおもいます。それから、ぼくは、たんぼのかかしをみたときは、「かかしさん、きょうもありがとう。」と、こころのなかでおもっています。

あさおきて、ごはんのたけたにおいがすると、おなかになります。それがぼくのいちにちのすたあとです。しろいごはんは、ぼくのげんきのもとです。たくさんたべて、はやくおおきくなりたいです。